

○ 中国・CDQ 事業推進チーム

[新日鉄エンジニアリング(株)]

代表者 にし むら 西 村 さとし 聡 (新日鉄エンジニアリング(株)
営業本部営業総括室長)

メンバー 39名 (新日鉄エンジニアリング(株) 19名
北京中日聯節能環保工程技術有限公司 20名)

コークス炉で石炭を乾留してできた約 1,000℃の赤熱コークスは、いったん冷却後ストックされ鉄鉱石とともに高炉に装入される。その冷却には中国では大量の散水による消火方式が多く用いられており、熱とともに多量の粉塵・COが大気放散されている。CDQ (Coke Dry Quenching Equipment) は不活性ガスによるコークス乾式消火設備であり、高温のコークスが持つ顕熱を回収してボイラーで蒸気を発生させる、製鉄所省エネ対策効果の20%を占める環境・省エネ設備である。

同社は現地企業との競合に苦勞しつつも、現地合弁を立ち上げ、徹底した技術移転による品質確保、コスト低減等に努めて市場での活路を開き、本年5月、首都鋼鉄向け世界最大(260t/h)のCDQを受注するなど、更に実績を拡大しつつある。同国への環境技術移転と国連のCDM事業認定を受けた環境・省エネ面での貢献は大きく、高く評価する。

